生徒たちの活躍 Congratulations

—不断の努力、大舞台で花開く

第61回岩手県吹奏楽コンクール小編成の部

金賞　久慈中学校 吹奏楽部

７月29日に開催された上記コンクールで、久慈中学校吹奏楽部が金賞を獲得し、東北大会に出場。部長の三上こまちさんは「全員が全国にいく気持ちで臨みました。岩手大会後には練習を改革。自分たちで練習を考え、お互いに意見する環境を作りました。全国出場は叶いませんでしたが、イベントに向け、部の活動目標である人々を感動させる音楽を届けられるよう、自分たちが本気で楽しんで演奏します」と思いを語りました。

第70回岩手県中学校総合体育大会柔道競技
男子60kg級
第１位
第54回全国中学校柔道大会
出場

松坂（まつざか） 侑（ゆう）さん
（長内中学校３年）

全国大会出場を目標にとにかく練習しました。県までは苦戦せずに勝てましたが、全国ではあと少しのところで勝てず、詰めの甘さを体感しました。三船十段記念館での練習も生かすことができました。指導してくれた先生や、親に感謝しています。

第70回岩手県中学校総合体育大会柔道競技
男子90kg超級
第１位
第54回全国中学校柔道大会
出場

繁田（はんだ） 心絆（しんぱ）さん
（久慈中学校３年）

昨年は残り数秒で投げられ３位に終わり悔しい思いをしました。部活やスポ少の他、休日も親に各地に連れて行ってもらい練習を重ねました。本番では教わった技を出し、優勝できてホッとしました。寝技が課題なので、体力づくりをしていきます。

第70回岩手県中学校総合体育大会陸上競技
２・３年女子砲丸投
第１位
第50回全日本中学校陸上競技選手権大会
出場

藤森（ふじもり） 希風（ののか）さん
（久慈中学校３年）

地区、全国大会ともに雨で、中断もあり難しい環境でしたが、自分なりのベストは出せました。１年生のときから、東北・全国大会を目標と先生や家族に伝えていたので、達成できて良かったです。高校でもインターハイ出場を目標に頑張ります。

このほかにも、多くの生徒が活躍しました

■第70回岩手県中学校総合体育大会

柔道競技
- 男子団体　第３位　久慈中学校
- 男子90kg超級　第２位　和山大雅（わやまたいが）(久慈中学校)
- 女子70kg級　第２位　一戸耀（いちのへひかり）(長内中学校)

陸上競技
- ２年男子100m　第３位　坂上寅壱（さかうえとらいち）(久慈中学校)

軟式野球競技
- 第３位　久慈中学校

水泳競技
- 背泳ぎ100m　第２位　黒畑釉嘩（くろはたゆうか）(長内中学校)

※３位以上または上位大会出場者を紹介。複数の種目で上位入賞の選手は、最上位の種目のみ掲載。

知事杯争奪第43回岩手県少年空手道選手権大会
小学４年男子組手
第１位
第11回東北少年少女空手道選手権大会
男子個人組手４年の部
第１位

松本（まつもと） 惇希（あつき）さん
（久慈三船空手道スポーツ少年団）

練習不足を感じていましたが、勝ち進むことができました。いつも決勝で戦うライバルに勝てるか不安でしたが、全力で戦い勝つことができてうれしかったです。大会が控えているので刻み突きと上段逆突きに注意し、優勝を目標に頑張ります。

第15回全国理容美容学生技術大会東北地区大会
ヘアデザイン画部門
中学高校生の部
優秀賞

関（せき） ゆりあさん
（久慈中学校３年）

１、２年の頃は本気でやろうと思えていませんでしたが、今回は賞を目指し楽しんで取り組むことができました。リアルな毛の流れを出すために親や友人に協力してもらい作成。受賞するとは思っていなかったので、すごくびっくりし、感動しました。

第52回岩手県少年軟式野球大会 兼 第40回記念全日本少年軟式野球大会ENEOSトーナメント岩手県予選

第１位　長内中学校 野球部

５月20日から27日にかけて行われた上記の大会で、長内中学校野球部が優勝。東北予選や東日本大会に出場しました。キャプテンの粒来琉雲（りゅう）さんは「チームのきまりごとを徹底してやることを意識して、サインプレーや得点パターンの確実性を上げる練習に取り組んできました。試合をするごとに全員野球ができるようになっていったと感じています。難しい試合もありましたが、優勝できてうれしいです。地域の皆さんのおかげで大会に参加することができました。たくさんの支援をいただき、ありがとうございました」と感謝の言葉を語りました。

第105回全国高等学校野球選手権記念岩手大会

第１位　花巻東高等学校 野球部

花巻東高等学校野球部が７月７日から27日にかけて行われた、第105回全国高等学校野球選手権記念岩手大会で優勝。全国大会では10年ぶりのベスト８進出を果たしました。両大会ともに市出身の４選手が出場。攻守にわたって好プレーが飛び出し、活躍を見せました。

久慈（くじ） 颯大（そうた）さん
（3年・外野手 久慈中学校出身）

今までと違う雰囲気で自然と集中して臨むことができました。外野陣の守備が良くないといわれていた中で、全体的にいいプレーが出て、厳しく教えてもらった恩を返すことができたと思います。３年間厳しかったですが最後まで続けることができ、仲間に感謝です。

晴山（はれやま） 太陽（たいよう）さん
（3年・内野手 久慈中学校出身）

岩手大会では自分のミスから負けそうになった試合があり、優勝の喜びの中で悔いが残りました。小さい頃からテレビで見ていた舞台で、一番は楽しくプレーできました。ヒットも打つことができてうれしかったです。今後も高い目標を持ち、野球を続けていきます。

中屋敷祐介（なかやしきゆうすけ）さん
（3年・投手 長内中学校出身）

自分の仕事は厳しい場面にリリーフして抑えることだと思って臨みました。岩手大会は準決、決勝と投げられなかった悔しさがありました。甲子園は気持ちを入れて楽しみ、無失点だったことがよかったです。課題も多くあったので今後の野球人生で直していきます。

簗田（やなた） 蒼汰（そうた）さん
（2年・内野手 長内中学校出身）

出場機会が少ない中で、いつ出てもいいように心の準備をしていました。試合を終えるごとにチームの成長を感じ、次に繋げるという３年生の意地を感じました。先輩の姿を忘れずに、目標である最後の夏の日本一に向けて、目の前のことに取り組んでいきます。